

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 三篠川 災害復旧助成事業に係る詳細設計業務(その5)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 河川 護岸

ボーリング名	No.5-1	調査位置	広島市安佐北区 白木町 井原地先 (4工区 No.140+12.0)	北緯	34° 34' 20.4210"
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和2年 6月23日～ 令和2年 6月24日
調査業者名	主任技師			現場代理人	コピ定者
ボーリング責任者					
孔口標高	132.47m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	度	0°	向	0° 水平 鉛直 90°
使用機種	東邦地下工機D-1型		試験機	東邦地下工機D-1型	
エンジン	ヤンマーディーゼルNFD-12		ポンプ	東邦地下工機BG-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日				
											深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試料採取番号							
									GL-0.3mまで植物根を含む表土。 砂は、中～粗砂主体とする。 礫は、φ2mm～30mm程度の垂円礫～円礫である。	6/24 80	0	10	20	30	40	50	60						
1			粘性土質硬質砂	茶褐色	rd2	茶褐色					9	1.15	1	1	7	9	1.15	P5-1-1	◎	密度 含水量 粒度			
2	130.17	2.30	玉石混り砂礫	茶褐色		茶褐色			硬質な玉石を含む砂礫。 砂は細～中砂主体である。		50以下	2.15	7	43	50	130	2.15	P5-1-2	◎	密度 含水量 粒度			
3	129.57	2.80		茶褐色		茶褐色			風化した粘板岩。		21	3.15	4	7	10	21	3.15	P5-1-3	◎	密度 含水量 粒度			
4				茶褐色		茶褐色			GL-5.85m以浅は、風化により、主に砂状～岩片状を呈し、岩組織がやや不明瞭である。		12	4.15	3	4	5	12	4.15	P5-1-4	◎	密度 含水量 粒度			
5				茶褐色		茶褐色			GL-5.85m以深は、岩組織が明瞭で、ハンマーの軽打で岩片状に割れる程度の硬さである。		30	5.15	10	10	10	30	5.15	P5-1-5	◎	密度 含水量 粒度	6/23		
6				灰		灰					50以下	6.10	27	23	50	170	6.10						
7				黒		黒					50以下	6.27	70	70	50	40	6.27						
8											50以下	7.05	50	50	50	40	7.05						
9	123.47	9.00									50以下	8.05	50	50	50	30	8.05						
10											50以下	8.05	50	50	50	30	8.05						
11											50以下	9.05	50	50	50	30	9.05						
12											50以下	9.05	50	50	50	30	9.05						
13											50以下	9.05	50	50	50	30	9.05						
14											50以下	9.05	50	50	50	30	9.05						